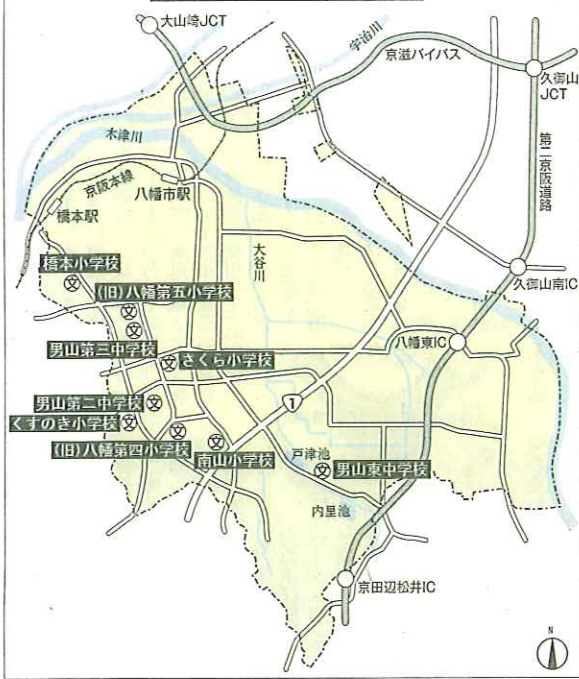


### 水害時の避難場所



anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp



▽利用方法 京都府に空メールを送信し、府から返信されるメールに従って登録手続きを行ってください。メールアドレス

△天気予報に注意 平成22年5月から、大雨や洪水などの気象警報・注意報が市町村単位の発表に変更されました。テレビやラジオなどから、最新の情報をチェックしましょう。京都府では、防災・防犯の情報をメール配信しています。

## あなたは大丈夫?

# 集中豪雨への備え



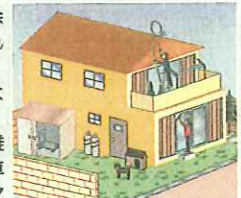
短時間に狭い範囲に集中して降る雨が集中豪雨です。激しい雨が何時間も同じ場所に降り続けると、大きな被害をもたらします。常に気象情報に注意し、日ごろから避難経路や避難地を確認しておきましょう。

**危険を感じたら**  
避難勧告や避難指示が発表されなくても、危険を感じたら自主的にすぐに避難しましょう。また高齢者や

**徒歩で避難**  
車での避難は交通渋滞を招き、緊急車両の妨げになります。子どものいる人(要配慮者)の避難を手助けし、できるだけ集団で避難しましょう。

### 大雨や台風に向けて 住まいの点検を

- ・アンテナなどのポールの支線や樹木の補強
- ・ベランダや家周りの物干しざお、植木鉢などの飛ばされそうなものの収納
- ・ペットの保護
- ・雨戸や窓の補強、ガラスの飛散防止シートなどでのガード
- ・側溝の点検、掃除
- ・ブロック塀は倒れないように補強
- ・ガスボンベは鎖などで二重に固定
- ・高齢者などの避難のための用具(車いす、台車、リヤカーなど)の用意
- ・床上浸水に備えて家財道具の移動
- ・農薬など「危険物」の漏れ、水ぬれの防止(石灰は水にぬれると発火します)
- ・防災関係機関の広報、お知らせの把握、確認



## すぐに設置しよう

### 住宅用火災警報器

すべての住宅を対象に住宅用火災警報器の設置が平成23年6月から義務化されます。

昨年全国では、住宅火災による死者数は1000人を超え、半数以上が「逃げ遅れ」です。火災による被害や死傷者を少なくするために火災を早期に感知し、いち早く知らせる住宅用火災警報器の設置が必要です。

す。火災から大切な家族を守るため住宅用火災警報器を設置しましょう。



Q 警報器の種類は  
A 熱感知器と煙感知器の2種類があります。台所には熱感知器、寝室や階段部分には煙感知器が適しています。

Q 販売はどこで  
A 消防本部では販売していません。まちは電器屋さんやホームセンター等の住宅用火災警報器の取扱店でNSマーク(日本消防検定協会認証証品)があるものを購入しましょう。悪質な訪問販売に注意しましょう。

Q 設置場所は  
A 寝室と台所の階段の踊り場の天井または壁面に設置してください。

Q 問い合わせ  
A 市消防本部 予防課 ☎981・0304

雨が降り続き、その後に強い雨が降ると災害が発生するといわれています。一般に1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上になったら要注意です。

1時間雨量	人が受けるイメージ	雨の強さと降り方		注意すること
		屋外の様子	車に乗っていて	
10mm~20mm やや強い雨	ザーザーと降る	地面一面に水たまりができる		長引くようなら注意が必要
20mm~30mm 強い雨	どしゃ降り、傘を差してもぬれる		ワイパーを速くしても見づらい	側溝や下水、小河川があふれ、小規模のけがれがあり、警戒が必要
30mm~50mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようなになる	ブレーキが利きにくくなる(ハイドロプレーニング現象)	避難の準備が必要
50mm~80mm 非常に激しい雨	滝のように降る、傘は全く役に立たない	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険	いつでも避難できるよう準備が必要 雨による大規模災害のおそれが高く、厳重な警戒が必要
80mm~ 猛烈な雨	息苦しいような圧迫感がある、恐怖を感じる			

## 秋の空 ゆとりとマナーで 事故はなし

### 秋の全国交通安全運動 9月21日(火)~30日(木)

9月30日は交通事故ゼロを目指す日

### 事故「ナシ」キャンペーン

市交通安全対策協議会は9月21日(火)、京阪八幡市駅前で行った事故「ナシ(梨)」キャンペーンを

います。

午前7時30分から八幡市特産のナシを使用した菓子を配り、「事故ナシ」を訴えます。また市商工会の女性部が「交通安全グッズ」を配布します。

◆問い合わせ 管理・交通課